



EDB

Postgres® for the AI Generation

EDB repositories and downloading

EnterpriseDB Corporation.

2024 年 10 月 29 日

目次

第 1 章	Getting started with repositories	3
1.1	Getting started using repositories on the web	3
1.1.1	Get your token	4
1.1.2	Add your repository using the web interface	4
1.1.3	Installing packages	5
1.2	Getting started using repositories with the CLI	6
1.2.1	Get your token	6
1.2.2	Adding EDB repositories using the command line	7
1.2.3	Installing a named package	8
1.3	Troubleshooting your repositories and downloads	8
第 2 章	Working with repositories	9
2.1	Directly browsing and downloading from the EDB repositories	9
2.1.1	ブラウズしてパッケージを見つける	9
2.1.2	パッケージのダウンロード	10
2.1.3	アーカイブのダウンロード	11
2.2	Building local mirrors of the EDB repositories	11
2.2.1	ローカル yum リポジトリを作成する	11
2.2.2	ローカル管理の yum リポジトリを使用する	13
2.2.3	ローカル管理リポジトリのメンテナンス	14
2.3	Installing in an air-gapped environment	14
2.4	Integrating with configuration management tools with EDB repositories	14
第 3 章	Migrating from Repos 1.0 to 2.0	15
3.1	Repos 1.0 リポジトリの削除	15
3.1.1	Debian/Ubuntu	15
3.1.2	RHEL とデリバティブ	15
3.1.3	SUSE	15
3.2	Repos 2.0 リポジトリを追加	16
第 4 章	Reference	17
4.1	EDB package names and repositories	17
4.1.1	EDB Postgres Advanced Server	17
4.1.2	EDB Postgres Extended	17
4.1.3	EDB Postgres Distributed	18
4.2	Repositories by name	18
4.2.1	現在のメジャーリポジトリ	18
4.2.2	古いリポジトリ	19

すぐにインストールを開始する場合は、[Getting started with repositories](#) にアクセスしてください。

ソフトウェアの効率的な配布とインストールは、システム展開を成功させるためのキーとなります。EDB では、これを念頭に置いてソフトウェアパッケージを作成し、プラットフォーム固有のパッケージマネージャーを介して配布します。

ほとんどの場合、ダウンロードポータル の指示に従うと、EDB リポジトリからソフトウェアをダウンロードするようにオペレーティングシステムをすばやく構成できます。これを行うと、システムは必要な EDB パッケージをインストールできます。

第1章 Getting started with repositories

次のいずれかのアプローチを使用して、リポジトリの使用を開始できます。

- Use the web page EDB ソフトウェアの Enterprise サブスクリプションを持っており、Web インターフェイスを使用してパッケージのダウンロードとインストールをガイドする場合。
- CLI を使用して EDB リポジトリからパッケージをインストールする場合、サブスクリプションの Use the CLI。CLI はすべての EDB リポジトリで動作し、パッケージをインストールする最も柔軟な方法です。

注釈: Standard または Community360 サブスクリプションがある場合、または TPA を使用せずに Postgres Distributed のパッケージをインストールする場合、CLI を使用する必要があります。 *Getting started using repositories with the CLI* を参照してください。

1.1 Getting started using repositories on the web

開始するには、EDB ソフトウェアの Enterprise サブスクリプションが必要です。リポジトリシステムの Web ベースのバージョンは、現在 Enterprise サブスクリプションのみをサポートしています。

注釈: `community360` や `postgres_distributed` などの他の EDB リポジトリからソフトウェアをインストールする場合は、コマンドラインインターフェイスを使用する必要があります。 *Getting started using repositories with the CLI* を参照してください。 Web ベースのインターフェイスを使用して EDB リポジトリからパッケージをインストールするには、次のことを行う必要があります。

1. *Get your token* 。
2. *Add your repository using the web interface* 。
3. *Install the package you need* 。

パッケージのインストールをマスターしたら、*Working with repositories* に進むことができます。リポジトリを直接参照してパッケージをダウンロードし、ローカルミラーを作成し、エアギャップインストールを処理し、構成管理ツールと統合する方法を学びます。

1.1.1 Get your token

トークンと EDB アカウント

EDB ソフトウェアをダウンロードするには、トークンが必要です。このトークンは、あなたと EDB からソフトウェアをダウンロードする資格を識別する文字列です。EDB のアカウントをお持ちの場合、既にトークンを持っており、取得できます。

アカウントをお持ちでない場合は、サインアップすると、EDB ソフトウェアリポジトリへの 60 日間のトライアルサブスクリプションが提供されます。

トークンの取得

1. [EDB Repos 2.0](#) ページに移動します。

まだログインしていない場合は、EDB アカウントにログインしてこのページにアクセスします。ログインしたら、[アカウントプロフィール] ページに移動します。[Account Profile] ページで、[**Repo Access**] を選択します。

1. EDB Repositories ページで、初めて訪問する場合、**Request Access** を選択して Repos 2.0 トークンを生成します。
2. トークンをクリップボードにコピーするには、**Copy Token** アイコンを選択します。次に、トークンを安全に保存します。

EDB アカウントを作成し、トークンを生成した後、

edbpostgres.com/downloads に移動し、EDB リポジトリを使用するようにシステムを構成できます。

次のステップ

次に、*[add the EDB repository to your system](#)*。

1.1.2 Add your repository using the web interface

Web インターフェイスを使用してリポジトリを追加できます。または、コマンドラインを使用してリポジトリを追加できます。Getting started using the CLE を参照してください。

1. <https://www.enterprisedb.com/repos-downloads> に移動します。

まだログインしていない場合は、EDB アカウントにログインします。アカウントプロフィールページに移動します。[Account Profile] ページで、[**Repo Access**] を選択します。

1. **Access Repos 2.0** を選択します。
2. 次のページで、パッケージをダウンロードするプラットフォームを選択します。
3. 左側の EDB ソフトウェアのリストから、追加するソフトウェアを選択します。

右側に、そのソフトウェアをインストールする手順が表示されます。

Step 1

We offer two ways to set up your repository. Once configured, additional packages can be installed by going directly to Step 2.
[Do you have both Enterprise and Standard subscription plans?](#)

Auto

Use this to quickly setup the repository automatically (recommended).

```
curl -sLf 'https://downloads.enterprisedb.com/pdZe6pcnWlmuqdR7v1L38rG6Z6wJEsY/enterprise/setup.deb.sh' | sudo
```

1. **ステップ 1** に移動し、Auto コマンドをコピーします。これは、システム用のすぐに実行できるリポジトリインストーラーです。単独で実行され、Repos 2.0 の EDB リポジトリのみをインストールします。EDB のウェブサイトでは、Repos トークンをコマンドに埋め込むことによりコマンドをパーソナライズしているため、そのまま実行できます。

2. コマンドをターミナルに貼り付けます。

操作が完了すると、システムは EDB からパッケージをダウンロードできます。

注釈: 問題がある場合は、[Troubleshooting your repositories and downloads](#) を参照してください。

1.1.3 Installing packages

EDB リポジトリをシステムに追加した後、必要な EDB パッケージをインストールできます。

必要なパッケージのパッケージ名の検索

EDB パッケージのドキュメントのインストール手順には、インストールする必要があるパッケージ名が記載されています。EDB Repos Web ページでパッケージ名を検索することもできます。

1. **EDB Repos 2.0** ページに移動します。

まだログインしていない場合は、EDB アカウントにログインします。ログインしたら、[アカウントプロフィール] ページに移動します。[Account Profile] ページで、[**Repo Access**] を選択します。

1. **Access Repos 2.0** を選択します。

2. 次のページで、パッケージをダウンロードするプラットフォームを選択します。

3. 左側の EDB ソフトウェアのリストから、インストールするソフトウェアを選択します。

右側に、そのソフトウェアをインストールするための手順が表示されます。インストール手順である **Step 2** を探します。図は、x86_64 上の Ubuntu 22.04 に EDB Postgres Advanced Server バージョン 16 をインストールする手順 2 を示しています。

Step 2

Once the repository is configured, run this to install the software packages.

```
sudo apt-get -y install edb-as16-server
```

1. **ステップ 2** の内容は、パッケージの完全なインストールコマンドを示しています。このコマンドをコピーしてターミナルに貼り付けて、パッケージをインストールできます。パッケージ名だけが必要な場合は、コマンドの最後に表示されます。

注釈: 問題がある場合は、 [Troubleshooting your repositories and downloads](#) を参照してください。

1.2 Getting started using repositories with the CLI

この入門では、CLI を使用して、必要な EDB パッケージをダウンロードおよびインストールする方法について説明します。CLI を使用して、`community360`、`standard`、`enterprise`、`postgres_distributed` を含む EDB リポジトリからパッケージをインストールできます。

CLI を使用して EDB リポジトリからパッケージをインストールするには、次のことを行う必要があります。

1. *Get your token* 。
2. *Add your repository using the web interface* 。
3. *Install the package you need* 。

パッケージのインストールをマスターしたら、[Working with repositories](#) に進むことができます。リポジトリを直接参照してパッケージをダウンロードし、ローカルミラーを作成し、エアギャップインストールを処理し、構成管理ツールと統合する方法を学びます。

1.2.1 Get your token

トークンと EDB アカウント

EDB ソフトウェアをダウンロードするには、トークンが必要です。このトークンは、あなたと EDB からソフトウェアをダウンロードする資格を識別する文字列です。EDB のアカウントをお持ちの場合、既にトークンを持っており、取得できます。

アカウントをお持ちでない場合は、[sign up for a free EDB account](#)。サインアップすると、EDB ソフトウェアリポジトリへの 60 日間のトライアルサブスクリプションが提供されます。

トークンの取得

Repos 2.0 トークンを取得するには、EDB リポジトリへの Web インタフェースを使用します。これは、トークンが発行される唯一の場所です。トークンを取得したら、CLI を使用して作業を続行します。

1. [EDB Repos 2.0](#) ページに移動します。

ログインしていない場合は、EDB アカウントにログインしてこのページにアクセスします。ログインしたら、[アカウントプロフィール] ページに移動します。[Account Profile] ページで、[**Repo Access**] を選択します。

1. EDB Repositories ページで、初めて訪問する場合、**Request Access** を選択して Repos 2.0 トークンを生成します。
2. トークンをクリップボードにコピーするには、**Copy Token** アイコンを選択します。次に、トークンを安全に保存します。

CLI を使用して、EDB リポジトリを使用するようにシステムを構成できるようになりました。

次のステップ

次に、*add the EDB repositories to your system*。

1.2.2 Adding EDB repositories using the command line

コマンドラインを使用してリポジトリを追加すると、Web サイトを使用するよりも EDB リポジトリをシステムに追加する際の柔軟性が高まります。ウェブサイトは現在 Enterprise サブスクリプションのみをサポートしていますが、CLI では、community360、standard、enterprise、postgres_distributed を含む EDB リポジトリを追加できます。

リポジトリとそれらにアクセスできるサブスクリプションのリストについては、*Repositories by name* を参照してください。

1. EDB アカウントから *Get your token*。
2. トークンを環境変数 \$EDB_SUBSCRIPTION_TOKEN に保存します。

```
export EDB_SUBSCRIPTION_TOKEN=your_token_here
```

1. 必要なリポジトリ名を環境変数 \$EDB_REPO に保存します。

```
export EDB_REPO=your_repository_name_here
```

1. オペレーティングシステムに応じて、適切な curl コマンドを実行します。

RHEL/AlmaLinux/RockyLinux/Oracle Linux および SUSE:

```
curl -sSLf "https://downloads.enterprisedb.com/$EDB_SUBSCRIPTION_TOKEN/$EDB_REPO/
→setup.rpm.sh" | sudo -E bash
```

Ubuntu/Debian:

```
curl -sSLf "https://downloads.enterprisedb.com/$EDB_SUBSCRIPTION_TOKEN/$EDB_REPO/
→setup.deb.sh" | sudo -E bash
```

1. その EDB リポジトリからパッケージをインストールできるようになりました。*Installing a named package* に移動して、必要なパッケージをインストールします。

注釈: 問題がある場合は、*Troubleshooting your repositories and downloads* を参照してください。

1.2.3 Installing a named package

1. インストールするパッケージ名を取得します。EDB リポジトリ Web インタフェースを介してパッケージ名を見つけることができます。パッケージ名は [EDB package names and repositories](#) リファレンスにもリストされています。
2. オペレーティングシステムに応じて、次のコマンドを実行してパッケージをインストールします。

RHEL/AlmaLinux/RockyLinux/Oracle Linux:

```
sudo dnf -y install package_name
```

SUSE:

```
sudo zypper install package_name
```

Ubuntu/Debian:

```
sudo apt-get -y install package_name
```

注釈: 問題がある場合は、[Troubleshooting your repositories and downloads](#) を参照してください。

1.3 Troubleshooting your repositories and downloads

ダウンロードが機能しない場合は、次のトラブルシューティング手順を試すことができます。

- **インターネット接続を確認してください。** インターネットに接続していること、接続が安定していることを確認します。
- **ターミナルでエラーを確認します。** curl コマンドがエラーで応答したか、出力なしですぐに返された場合、コマンドに問題がある可能性があります。コマンドを確認して、再試行します。
- **404 エラーを確認します。** 404 エラーが表示された場合、トークンでは、構成したリポジトリにアクセスする資格がない可能性があります。リポジトリ名を確認して、再試行します。

これらの手順のいずれも機能しない場合は、

[EDB Support](#) に連絡してサポートを求めてください。

第2章 Working with repositories

EDB リポジトリを使用するときに実行する必要がある一般的なタスクには次のものが含まれます。

- *Directly browsing and downloading from repositories* したがって、利用可能なものを確認し、必要に応じて、リポジトリをインストールせずにパッケージを直接ダウンロードできます。
- *Building local mirrors of the EDB repositories* インストールを高速化し、EDB リポジトリへの依存を削減します。
- *Installing in an air-gapped environment* EDB パッケージを実行しているシステムがインターネットにアクセスできないサイトの安全な場所など。
- *Integrating with configuration management tools with EDB repositories*、以下を含む *JFrog Satellite Artifactory Nexus*

2.1 Directly browsing and downloading from the EDB repositories

リポジトリを参照してパッケージを見つけたり、リポジトリからパッケージをダウンロードしたり、現在のビューで使用可能なリポジトリ全体をダウンロードしたりできます。

2.1.1 ブラウズしてパッケージを見つける

1. <https://www.enterprisedb.com/repos-downloads> に移動します。

まだログインしていない場合は、EDB アカウントにログインします。アカウントプロフィールページに移動します。[Account Profile] ページで、[**Repo Access**] を選択します。

1. **Access Repos 2.0** を選択します。

現在、**EDB Repositories for Linux** ページを表示しています。このページには、**Install EDB software** と **Download EDB software** の2つのセクションがあります。**Download** セクションでは、タイトルの下に、参照可能なリポジトリをリストするパネルがあります。

Download EDB software packages from your browser

Select a repository to browse and download packages.

Enterprise
Postgres Distributed 5

”

1. 参照するリポジトリを選択します。

新しいタブまたはウィンドウが開き、使用可能なオペレーティングシステムとアーキテクチャのオプションが表示されます。



図 1: Platforms and architecture selection

選択した内容に応じてリポジトリパッケージリストが表示されます。

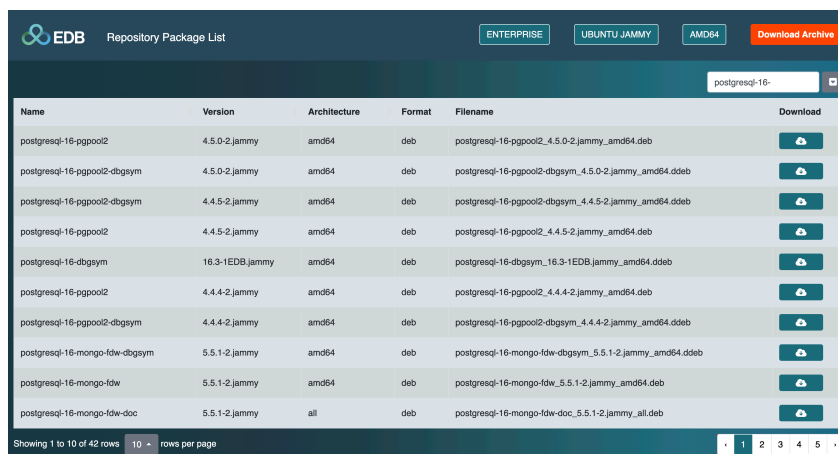


図 2: Repository package list

使用可能なファイルのビューは、現在のページとページ数を含む複数のページとして表示されます。すべての結果を単一のページに表示するには、**Search** フィールドの横にある上/下矢印トグルを選択します。

検索テキストを含むパッケージ名のみを含むように結果をフィルタリングするには、検索フィールドにテキストを入力します。

2.1.2 パッケージのダウンロード

表示されている利用可能なパッケージについては、パッケージリストの右側にダウンロードアイコンが表示されます。これを選択してパッケージをダウンロードします。パッケージは、リストの名前列に表示されるフルネームでダウンロードされます。

2.1.3 アーカイブのダウンロード

現在のビューで利用可能なリポジトリ全体をダウンロードする場合は、ページの上部にある **Download Archive** を選択します。これにより、現在表示されているプラン、オペレーティングシステム、およびアーキテクチャのリポジトリコンテンツの圧縮アーカイブがダウンロードされます。

2.2 Building local mirrors of the EDB repositories

これらの手順は、RHEL、AlmaLinux、Rocky Linux、その他の RPM パッケージシステムなどの yum ベースのシステムを対象としています。

2.2.1 ローカル yum リポジトリを作成する

パッケージ yum-utils および createrepo をインストールします。

```
dnf install yum-utils createrepo
```

Getting started using repositories with the CLI の指示を使用して、サーバーに enterprisedb リポジトリを設定します。

リポジトリの構成が完了したら、dnf repolist を使用してリポジトリの存在を確認できます。

出力は次のとおりです。

```
[~]$ dnf repolist
repo id repo name
enterprisedb-enterprise enterprisedb-enterprise
enterprisedb-enterprise-noarch enterprisedb-enterprise-noarch
enterprisedb-enterprise-source enterprisedb-enterprise-source
```

ミラーするリポジトリのセットアップが成功したら、dnf reposync を使用してリポジトリをローカルディレクトリにコピーできます。多くの便利なオプションを dnf reposync に渡すことができます。

- `--repoid` “-”` dnf repolist 出力で見つかるリポジトリ ID。
- `--download-metadata` “-”` createrepo を実行する必要があるステップをバイパスします。
- `--arch` “-”` 指定されたアーキテクチャに基づいてダウンロードをフィルタリングします。
- `--remote-time` “-”` パッケージのタイムスタンプを維持しようとします。
- `--newest-only` “-”` リポジトリ内のパッケージの最新バージョンのみをダウンロードします。
- `--download-path` “-”` ファイルをダウンロードするパスを指定します。

この例は、dnf reposync の使用を示しています。この例では、Apache サーバー httpd 上のリポジトリ usign を提供します。/var/www/html/repos/<repoid> のダウンロードパスを使用します。<repoid> は、クローン作成するリポジトリ ID と一致します。

```
sudo dnf reposync --repoid=enterprisedb-enterprise --download-metadata --arch=x86_64 --remote-time --newest-only --download-path=/var/www/html/repos/
```

コマンドが正常に完了すると、`/var/www/html/repos/enterprisedb-enterprise` にファイルが作成されます。デフォルトでは、SELinux はこれらのファイルへのアクセスをブロックします。httpd がこれらのファイルにアクセスできるようにするには、`permissionsive` モードで httpd を実行するか、ファイルの SELinux コンテキストを変更できます。

ファイルの SELinux コンテキストを変更するには

```
chcon -R -t httpd_sys_content_t /var/www/html/repos/enterprisedb-enterprise
```

httpd を `permissionsive` モードに設定するには

```
sudo systemctl stop httpd
sudo chcon -t bin_t /usr/sbin/httpd
sudo systemctl start httpd
```

ブラウザを使用してディレクトリを表示できるようになりました。ターミナルブラウザ `lynx` `dnf install lynx` を使用して、次のことを実行できます。

```
lynx http://localhost/repos/enterprisedb-enterprise
```

ディレクトリの内容がブラウザに表示されます。

別のシステムからの Web サーバーの表示

別のシステムから Web サーバーを表示するには、ファイアウォールでポート 80 を開く必要がある場合があります。

これを行うには、最初にファイアウォールが実行されていることを確認します。

```
sudo firewall-cmd --state
__OUTPUT__
running
```

次に、ポートを開きます。

```
sudo firewall-cmd --permanent --add-port=80/tcp
__OUTPUT__
success
```

変更を適用するには、ファイアウォールをリロードします。

```
sudo firewall-cmd --reload
__OUTPUT__
success
```

他のシステムから Web サーバーにアクセスし、ミラーとして使用できるようになりました。

2.2.2 ローカル管理の yum リポジトリを使用する

別のホストがローカルミラーからインストールできるようにするには、`/etc/yum.repos.d/edb_local.repo` に yum リポジトリファイルを作成する必要があります。コンテンツはこの例のように簡単です。

```
[gpc-enterprisedb-enterprise]
name=gpc-enterprisedb-enterprise
baseurl=http://gpc/repos/enterprisedb-enterprise/
repo_gpgcheck=0
enabled=1
gpgcheck=0
sslverify=0
pkg_gpgcheck=0
autorefresh=1
type=rpm-md
```

パッケージがローカルサーバーから利用できることをテストするには、`dnf repo-pkgs {repoid} list` を使用します。

```
dnf repo-pkgs gpc-enterprisedb-enterprise list
__OUTPUT__
Last metadata expiration check: 0:01:12 ago on Thu Jul  4 12:43:56 2024.
Available Packages
SFCGAL.x86_64                                1.4.1-11.rhel9      gpc-
→enterprisedb-enterprise
SFCGAL-devel.x86_64                          1.4.1-11.rhel9      gpc-
→enterprisedb-enterprise
SFCGAL-libs.x86_64                           1.4.1-11.rhel9      gpc-
→enterprisedb-enterprise
beacon-agent.x86_64                          1.59.0-1            gpc-
→enterprisedb-enterprise
edb-as12-advanced-storage-pack.x86_64        1.0.3-1.el9         gpc-
→enterprisedb-enterprise
edb-as12-advanced-storage-pack-debuginfo.x86_64 1.0.3-1.el9         gpc-
→enterprisedb-enterprise
edb-as12-hdfs_fdw.x86_64                     2.3.1-1.el9         gpc-
→enterprisedb-enterprise
...
```

ご覧のとおり、使用可能なパッケージは、ローカル管理の yum リポジトリから入手可能なパッケージです。このリポジトリは、他の yum リポジトリと同様に使用できます。

2.2.3 ローカル管理リポジトリのメンテナンス

ローカル管理リポジトリは、比較的軽いメンテナンスを必要とします。ただし、ローカル管理の yum リポジトリを最新の状態に保つために、何らかのメカニズムを構成することをお勧めします。最も簡単なオプションは、関連する `dnf reposync` コマンドを実行する cron ジョブを作成することです。

2.3 Installing in an air-gapped environment

エアギャップインストールの場合、EDB リポジトリからパッケージとその依存関係をダウンロードし、エアギャップ環境に転送する必要があります。パッケージをダウンロードする方法の詳細については、[Building local mirrors of the EDB repositories](#) を参照してください。これは、インストールが必要なすべてのパッケージとその依存関係を含むディレクトリを作成する方法を示しています。

このプロセスで作成されるディレクトリは、エアギャップ環境に転送できます。エアギャップ環境では、ローカルリポジトリを作成し、そこからパッケージをインストールできます。

2.4 Integrating with configuration management tools with EDB repositories

近日公開予定のコンテンツ

- JFrog Artifactory
- Satellite
- ネクサス

第3章 Migrating from Repos 1.0 to 2.0

このプロセスの2つの手順を順番に実行することをお勧めします。最初のステップは、システムから古い Repos 1.0 リポジトリを削除することです。2番目のステップは、新しい Repos 2.0 リポジトリをシステムに追加することです。

逆の順序で手順を実行することも可能です。ただし、移行中にパッケージを更新またはインストールしようとするプロセスが実行されていないことを確認する必要があります。

3.1 Repos 1.0 リポジトリの削除

移行の最初のステップは、マシンのリポジトリリストから Repos 1.0 エントリを削除することです。

3.1.1 Debian/Ubuntu

実行します

```
sudo su -c rm /etc/apt/sources.list.d/edb-$(lsb_release -cs).list
```

3.1.2 RHEL とデリバティブ

実行します

```
sudo rm /etc/yum.repos.d/edb.repo
```

3.1.3 SUSE

実行します

```
zypper rr https://zypp.enterprisedb.com/suse/edb-sles.repo
```

3.2 Repos 2.0 リポジトリを追加

次のステップは、Repos 2.0 リポジトリをマシンに追加することです。*Getting started with repositories* の指示を使用できます。

- 他のすべてのサブスクリプションとソフトウェアについては、*Getting started using repositories with the CLI* を参照してください。
- Web インターフェイスを使用し、Enterprise サブスクリプションのみをお持ちの場合、*Getting started using repositories on the web* を参照してください。

第4章 Reference

EDB リポジトリの次のリファレンス情報を利用できます。

- *EDB package names and repositories* “-” EDB リポジトリで使用可能なパッケージ名のリスト。
- *Repositories by name* “-” EDB リポジトリで使用可能なリポジトリのリスト。

4.1 EDB package names and repositories

各 EDB 製品のパッケージ名とリポジトリのリストを見つけるには、次の表を参照するか、製品のドキュメントの関連ページへのリンクを選択します。

4.1.1 EDB Postgres Advanced Server

EDB Postgres Advanced Server のパッケージ名の完全なリストがあります。

4.1.2 EDB Postgres Extended

Product			Package name	Repository name	
EDB	Postgres	Ex-	edb-postgresextended-12	postgres_extended,	post-
tended	12			gres_distributed	
EDB	Postgres	Ex-	edb-postgresextended-13	postgres_extended,	post-
tended	13			gres_distributed	
EDB	Postgres	Ex-	edb-postgresextended-14	postgres_extended,	post-
tended	14			gres_distributed	
EDB	Postgres	Ex-	edb-postgresextended-15	postgres_extended,	post-
tended	15			gres_distributed	
EDB	Postgres	Ex-	edb-postgresextended-16	postgres_extended,	post-
tended	16			gres_distributed	

4.1.3 EDB Postgres Distributed

Product	Package name	Repository name
EDB Postgres Distributed 5 for Postgres 12	edb-bdr5-12	postgres_distributed
EDB Postgres Distributed 5 for Postgres 13	edb-bdr5-13	postgres_distributed
EDB Postgres Distributed 5 for Postgres 14	edb-bdr5-14	postgres_distributed
EDB Postgres Distributed 5 for Postgres 15	edb-bdr5-15	postgres_distributed
EDB Postgres Distributed 5 for Postgres 16	edb-bdr5-16	postgres_distributed
EDB PGD Proxy 5	edb-pgd5-proxy	postgres_distributed
EDB PGD CLI 5	edb-pgd5-cli	postgres_distributed

4.2 Repositories by name

4.2.1 現在のメジャーリポジトリ

EDB から現在サポートされている製品については、次のリポジトリを利用できます。

Repository	Required subscriptions	Contents
community360	Community360	Supported Open Source
standard	Standard	Standard subscription
enterprise	Enterprise	Enterprise subscription
postgres_distributed	PGD	PGD 5+
postgres_distributed_4	PGD	PGD 4

4.2.2 古いリポジトリ

サポートが終了した製品またはサポートが終了した製品の場合、次のリポジトリを利用できます。

Repository	Required subscriptions	Contents
postgres_extended	PGD	2ndQPostgres
bdr_3_7_postgres	PGD	BDR 3.7 for PostgreSQL
bdr_3_7_postgres_exten	PGD and Standard	BDR 3.7 for PGE
bdr_3_7_postgres_advar	PGD and Enterprise	BDR 3.7 for EDB Postgres Advanced Server
bdr_3_6_postgres	PGD	BDR 3.6 for PostgreSQL
bdr_3_6_postgres_2q	PGD	BDR 3.6 for 2ndQPG